

## 令和3年度 第6回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議

日時：令和3年10月20日（火） 10：50～11：10

開催手法：WEB会議

### 1. 開会

座長： 前回の同会議において様々な意見をいただいた。期間がそれほど空いていないが、それらを踏まえて一定の整理をしているので共有したい。

### 2. 第6次尼崎市総合計画 主要取組項目・総合指標について

事務局より資料に基づいて説明

座長： 総合指標に3つ目を加える場合、市民の実感を問うのが良いのではないかと考えており、「尼崎に住んでよかったと思う市民の割合」としているが、感想を含めて意見をいただきたい。

委員： 総合指標に「尼崎に住んでよかったと思う市民の割合」を設定することは良いと思う。また、指標等を考えるうえで、数字の使い方は非常に重要であり、市外転出意向の理由について、今後計画を説明していくなかで、丁寧な説明が必要だと考えている。ファミリーアンケートの内容について詳細を分析しているが、「治安・マナー」が悪いという理由が多く、80%程度の方が体験に基づいたものとして選択している。その内訳としては「人柄の悪さ」が「事件が多い」を上回っており、80%程度の方がマナーの悪さを指摘している状況から「治安・マナー」を、分離して考えるべきではないか。また、「街頭犯罪の件数が減少したことを知っているか」という質問に対して、知らない方が約9割いるため、そういった改善状況等の情報発信が課題ではないか。

事務局： 「治安」と「マナー」についてはアンケート項目を分離して考え、丁寧な説明を心がけたい。

座長： 情報の発信については非常に重要であると考えている。これまでの10年はPDCAサイクルを回しながら取組を進めてきた。その中で改善の手ごたえが出てきており、それを一過性のものにせず、確たるものにしたい。課題対応と魅力向上に引き続き取り組んでいくとともに、発信や理解を深めることで実感や手応えにつなげたい。また、実感と手応えを誇り

につなげると表現しているが、前回あまりネガティブな指標は良くないのではないかと  
いう指摘があったことを考えると、「誇りにつなげる」というと、現状としては誇りが足りて  
いないこととなるのかといった懸念や、シビックプライドという言葉を前面に出すことで  
表現することも考えられるのか、といったようなことを検討中である。

委員： 「つなげる」ではなく、「深める」という表現ではどうか。

座長： 主要取組項目の「子ども・教育」について、教育の取組内容があまり無く、福祉に  
寄っている印象がある。

委員： 教育の部門として「学力向上」を記載してほしい。

以 上